

行財政改革実施計画・行動計画票

No.	90	[平成18年6月 日提出]			
基本方針	町民との協働に向けた環境づくり	担当課名	土木課		
重点項目	町民参画の推進				
取組項目	アダプト・プログラムの推進				
経過・現状 (H17.4.1現在)	・現在、一部の町民により公共施設の美化や清掃活動が行われている。しかしながら、その多くは地域活動又は自己啓発の一環といった色彩が強く、「官民協働」といった意識付けの段階には達していない。 ・町道については、草刈りなど清掃活動が必要な路線数が86路線、延長にして123kmある。				
行 動 概 要	目標	・H19以降、各施設毎に2団体(グループ)以上を登録 (目標年次) 平成21年度			
	期待される効果	・役場と町民との役割分担が進む契機となり、環境に対する町民の意識改革につながる。 ・施設管理経費(委託料、賃金)の削減につながる。			
	必要性・問題点	・町民が受動的ではなく、自ら活動内容の決定に関わる仕組みづくり、さらには町民の意識付けが必要。 ・町民に対する活動意義、内容(従来からの清掃美化運動との違い)の普及宣伝			
	対象	町民			
	手段	年度	実施内容・予定時期	効果額合計(5,264 千円)	
	17年度 (実績)	・愛護団体活動推進事業実施要綱の制定(H18年4月施行)		目標数値	▲
				効果	歳入(千円) 歳出(千円)
	18年度	・活動範囲 <道路> 8路線 8団体 延べ 120人 <河川> 箇所 団体 延べ 人 <漁港> 箇所 団体 延べ 人 <公園> 箇所 団体 延べ 人 ・各種団体を訪問し、登録の依頼を行う		目標数値	参加団体数 8団体
				効果	歳入(千円) 歳出(290 千円)
	19年度	・活動範囲 <道路> 10路線 10団体 延べ 150人 <河川> 2箇所 2団体 延べ 30人 <漁港> 2箇所 2団体 延べ 30人 <公園> 2箇所 2団体 延べ 30人 ・駐在員会議や各地区郷会等に出向き登録の依頼を行う		目標数値	参加団体数 16団体(+8団体)
			効果	歳入(千円) 歳出(974 千円)	
20年度	・活動範囲 <道路> 12路線 12団体 延べ 180人 <河川> 4箇所 4団体 延べ 60人 <漁港> 4箇所 4団体 延べ 60人 <公園> 4箇所 4団体 延べ 60人 ・各種団体を訪問し、登録の依頼を行う ・町広報誌により、普及宣伝を行う		目標数値	参加団体数 24団体(+8団体)	
			効果	歳入(千円) 歳出(1,658 千円)	
21年度	・活動範囲 <道路> 14路線 14団体 延べ 210人 <河川> 6箇所 6団体 延べ 90人 <漁港> 6箇所 6団体 延べ 90人 <公園> 6箇所 6団体 延べ 90人 ・各種団体を訪問し、登録の依頼を行う ・各地区郷会等に出向き登録の依頼を行う		目標数値	参加団体数 32団体(+8団体)	
			効果	歳入(千円) 歳出(2,342 千円)	
関係例規等	名称	新上五島町愛護団体活動推進事業実施要綱		改正時期	平成18年3月